

# 看護師長のリーダーシップが LMX 形成を介して 従業員エンゲージメントに与える影響

氏 名 山下 亮

指導教員 鳥取部 真己

## 要旨

少子高齢社会における現代社会では、医療・看護ニーズの需要増大に伴う看護職員の需要不足が問題となっている。看護職員の需要不足の要因は、少子化に伴う生産年齢人口の低下による看護職員の減少や、労働環境問題、職場の人間関係などを理由とした離職などがあり、今後、看護職員の人材確保に向けた取り組みが重要となる。看護職員の離職理由には、様々なものがあるが、従業員エンゲージメントが低いことも一つの要因であると思われる。従業員エンゲージメントとは、従業員が会社に抱く愛着や貢献意欲のことであり、職場環境やリーダーとの関係性により変化する。これが低いと、業務への意欲が低下し、離職に至ると考えられている。そこで、今回、看護師長とスタッフ看護師との関係性において、看護師長のリーダーシップが LMX 形成を介して、従業員エンゲージメントへ影響を与える要因を分析した。

看護職員を対象としたインタビュー調査結果により、5つの仮説を導出し、アンケート調査を行った。アンケート結果で尺度を構成し、重回帰分析とパス解析を行い、仮説検証を行った結果、サーバントリーダーシップは、LMX を介して、間接的に従業員エンゲージメントへ影響を及ぼす要因であることが示された。また、サーバントリーダーシップにおいては、LMX 形成と有意な相関関係を示され、結果として5つのうち、4つの仮説が概ね支持された。

本研究では、これらの結果をもとに、提言 1: スタッフへの明確な指示・命令を行い、目標達成機能を発揮する、提言 2: 緊急事態下は、スタッフ間の調和を保てるように、集団維持機能を発揮する、提言 3: 次世代のリーダーを計画的に育成するプログラムを作成する、提言 4: スタッフ看護師とコミュニケーションを図る時間を確保する、提言 5: リーダーとして、スタッフを大事にする姿勢を行動で示すことの5つの提言を得た。